

チャレンジ項目記入数 9

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		「すべてに一流を目指そう」の経営理念の基、期首に社長が経営基本方針を発表し、各部署毎にトップダウンを行います。各部、方針実行目標を定め全社員一丸となり、取組み・実践します。また毎月、経過状況を把握し、次期に向けての新たな経営目標として活動しています。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		ISOにて法基準登録簿・法令違反行為処分規程・法令遵守の為の管理規程等を作成し、社内HPに掲載しています。また、定期・不定期に見直しを行っています。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		コンプライアンス事務局を設け、相談窓口を設置しています。社内HPにコンプライアンス指針、法律等を掲載しております。またコンプライアンス関連の法律に関して、年1回テストを全社員に行い、周知を促しています。											10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		ISO事務局にてISO9001・ISO14001の取得、継続するための活動の実施、コンプライアンス事務局を設け会社全体の体制・整備を行っています。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		他社の知的財産を侵害しないよう、コンプライアンス事務局で業界内の知的財産情報を監視しています。また、自社の知的財産権の保護意識を高めるとともに、他社の知的財産権を尊重する企業風土づくりに取り組んでいます。								8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護法に準拠した個人情報取扱規程を作成し、ISOに登録及び社内HPに掲載し、管理本部長を責任者として、適切な管理を図っています。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		利害関係者から提出される『工事成績評定通知書』の管理を行っています。社内HPに掲載し、全社員が把握できるようにしています。また年間の目標点数を掲げ、達成に向けて活動しています。また、ロードクリーンボランティアをはじめ、多様なボランティア活動も積極的に行っています。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー・事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16		17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		事業継続計画(BCP)を策定し、年に1回の見直しと訓練を行っています。								9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●									8	9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16			17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則に記載、社内HPに掲載し、全社員に周知しています。管理職をはじめ一般社員に対して各種ハラスマント教育を実施しています。また相談窓口を設置しています。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全委員会、衛生委員会を設け月1回開催して活動を行っています。工場内のパトロール、安全・衛生週間期間中の教育実施を行っています。工場、現場作業についても、月1回4時間、安全教育を開催しています。		3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		労働基準法・労働契約法・男女雇用機会均等法・パートタイム有期雇用労働法を準拠し、同一労働同一賃金の原則に基づき対応しています。				5.5			8.5 8.6 8.7		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		定時消灯、年休奨励日、子の看護・介護休暇の取得推進を行っています。		3		5.5			8.5 8.6 8.7		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		期首に教育訓練計画書を各部作成し、活動しています。また、全社員が個々の能力向上を目的に目標チャレンジシートを毎年作成しています。		4		5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		毎年、健康診断を全社員実施しております(100%受診)。その他、特定保健指導・長時間労働面接指導を実施しています。また、健康経営優良法人や協会けんぽヘルスター認定を受けています。		3					8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		2021年、2024年度新入社員の女性を溶接工として採用しています。また、外国人技能実習生も受け入れています。早期に第一線で活躍出来るよう、教育・訓練・資格取得に向けた支援体制を整えています。			4.4	5.1 5.5			8.5 8.6 8.7		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		テレワーク規定の制定及び多くのウェブ会議を実行しています。		3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		現場と工場、発注者と工場など、遠隔地でもウェアラブルカメラで撮影した映像、音声をWEB会議システムを利用し、出張することなく現場や製品の確認ができる仕組みをはじめとするDXを推進しています。							8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		2019年10月17日より継続してプライト企業に認定いただいている。			3	4			8	9		12									

チャレンジ項目記入数 9

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ISO14001を取得しています。また、産廃についてはマニフェストにより適切に管理し、最終処理施設までの廃棄処理の定期的確認を実施しています。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		毎月電力消費量を把握し、週間報告により全社員へ公開しています。また、事務所、工場の照明はLED化を推進し、社有車はハイブリット車導入によるエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		フロン排出抑制法に基づき、社内空調設備関連の定期点検を実施し、適切な管理運転状態を維持しています。また、電気使用量・燃料使用量について、簡易計算シートを用いてCO2排出量を把握し、施工現場で使用する建設機械は排出ガス規制仕様を満足する機械を使用、CO2排出削減に取り組んでいます。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる(エコパックの活用)。また、河川への油流出等を想定し、吸着マットを常備しています。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ペーバレス化、電子データ化を推進しています。また、環境方針の重点活動項目に「環境負荷を軽減する生産活動を展開する」を掲げ、ごみの適切な分別促進、適切な処理をはじめ、様々なミスによる資源のロスを抑制するための仕組みづくりを構築しています。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水質汚濁防止法に従い、工場排水は処理設備を経由して排出し、月次の水質検査を第3者機関に依頼し実施しています。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		工場で使用する調達品で、廃プラとなる容器は焼却時にダイオキシンが発生しない製品を選定しています。							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		工場立地法に適応するように、工場敷地内の緑地面積の増設を推進しています。										11.6 11.7	13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5	13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●									9.4		11.2	13.1 13.3							
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

チャレンジ項目記入数 9

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ISO9001を取得しており、各プロセスに応じた社内の仕組みを構築しており、1回/年は法基準、社内規定等の定期見直しを実施しています。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		当社製品操作において、運転操作の省力化、負担軽減となる製品開発に取り組んでいます。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●									7					12.2	13.1			15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		ロードクリーンボランティアに参加し、年間25回以上、正門前の花壇等の美化に取り組んでいます。また、8月の「しらかわの日」は社員有志で清掃活動に参加しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		各部、拠点ごとに緊急事態対応要領書を作成し、1回/年の定期見直し、テストの実施をしています。また、本社工場に防災備蓄品を保管しています。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		国土交通省九州地方整備局、熊本河川国道事務所及び八代河川国道事務所と管内における災害時応急対策における基本協定を締結し、災害発生時に迅速な緊急時の応急復旧工事等を実施し、早急な施設の保全・復旧に努め、社会経済に与える影響を最小限にするための協力体制を整えています。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		ダム用ゲート、河川用ゲート、除塵設備、水門・陸閘連隔監視操作制御設備などの製作据付で、地域防災に貢献しています。									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		熊本県からの依頼を受けて、工業高校向けに溶接指導教育を実施しています。また、高校、短期大学校、大学から毎年、インターンシップを受け入れています。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		地元の高校、大学へ積極的な求人活動を展開しています。また、ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度を活用しています。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。